

事業名	地域づくり推進事業費			調査番号	15
細事業名	地域づくり推進事業費	財務コード	1142		
担当部課室	総務 部	市町村 課	地域振興 担当 (内線)	2454	

I 事業の概要

実施期間	始期 S60 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	一般財団法人 地域活性化センター		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県職員	・情報及び調査、研究結果の提供を受ける・ひとづくりに関する研修及び交流への参加・まちづくりに対する助成の支援	地域づくり施策に生かすことにより、活力と魅力あふれる地域づくりの推進を図る。また、市町村による助成の活用を図る。
内容	・情報誌「地域づくり」等の受発信 ・研修生としての派遣 ・地域おこし及び地域イベントの活用 ・まちづくり等への助成の活用(市町村)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	目標	2	2	2	2	2	2	2
	実績(見込)	3	1	2	2	2	2	
	達成率	150.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成区分	b	c	b	b	b	b	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位: 千円		900	900	900	900	900	900	900

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	市町村による、まちづくり等への助成の活用件数
成果指標	b	情報誌の受発信等、情報提供に務めるなどしたところ、市町村による、まちづくり等への助成の活用件数は、意図した成果をほぼ上げている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い	
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他		
説明	地域活性化センターは、年会費を納入する47都道府県等と、その管内の市町村が正会員となって構成されており、市町村が各助成事業等を申請しようとする際には、都道府県知事を經由することとなっている。			
有効性(成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
説明	市町村に対し助成の活用を更に促し、事業量を増加させたい。			
見直しの余地	判断	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市町村へ事業の助成説明を拡充するなかで、事業の申請を増加させる。)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	助成の活用を更に促すことで、事業採択の増加につなげる。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	助成の周知や申請書の記載などについて、よりきめ細かい対応を行っていく。
----------	----	-------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。